

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	城西国際大学
設置者名	学校法人城西大学

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
経営情報学部	総合経営学科	夜・通信			14	14	13	
国際人文学部	国際文化学科	夜・通信		10	14	24	13	
	国際交流学科	夜・通信			6	16	13	
福祉総合学部	福祉総合学科	夜・通信			16	16	13	
	理学療法学科	夜・通信			14	14	13	
薬学部	医療薬学科	夜・通信			20	20	19	
メディア学部	メディア情報学科	夜・通信			23	23	13	
観光学部	観光学科	夜・通信			16	16	13	
看護学部	看護学科	夜・通信			15	15	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学ホームページのシラバス情報検索サービスにて公表 https://jiu-unipa.jiu.ac.jp/uprx/ 検索文字列に「実務経験有」と入力して絞り込み
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	城西国際大学
設置者名	学校法人城西大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 https://www.josai.jp/about/director/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤 浅島 誠 理事	帝京大学先端総合研究機構特任教授 学術顧問	2023.4.1 ~ 2027.3.31	学術研究に関する指導、助言及び管理、監督
非常勤 上原 明 理事	大正製薬ホールディングス（株）代表取締役社長	2021.4.1 ~ 2025.3.31	大学経営全般に関する指導、助言及び管理、監督
非常勤 黒川 達夫 理事	（一社）日本バイオシミラー協議会理事長	2022.8.1 ~ 2026.7.31	大学経営全般に関する指導、助言及び管理、監督
非常勤 羽入 佐和子 理事	帝京大学先端総合研究機構特任教授	2021.4.1 ~ 2025.3.31	学術研究に関する指導、助言及び管理、監督
非常勤 吉本 高志 理事	（一財）脳神経疾患研究所最高顧問	2021.4.1 ~ 2025.3.31	大学経営全般に関する指導、助言及び管理、監督
非常勤 リピット水田 堯 理事	米国 南カリフォルニア大学映画芸術学部副学部長	2024.4.1 ~ 2028.3.31	学術研究に関する指導、助言及び管理、監督
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	城西国際大学
設置者名	学校法人城西大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>毎年2～3月に、開講科目担当教員に対し締め切り日を設定し、シラバス作成要領に従って、本学所定のフォームにweb入力で授業計画の作成をお願いしている。</p> <p>入力完了後、抜けはないか、フォームに沿って入力されているか教務委員を主体として授業計画(シラバス)チェックを行い、4月初旬に公開している。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページにて公表</p> <p>https://jiu-unipa.jiu.ac.jp/uprx/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>全学共通の指針として、履修申請、試験、成績発表について学生便覧の「履修の手引きと手続き」に掲載し、これを厳格に運用している。授業計画(シラバス)に記載された成績評価基準に基づき、試験・レポート等による総合評価に基づき、以下の基準に従い、単位を認定している。</p> <p>・100点を満点として、60点以上をもって単位修得(合格)とする。 その評価は次に従う</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評 価</th> <th>得点分布</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S</td> <td>100点～90点</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>89点～80点</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>79点～70点</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>69点～60点</td> </tr> <tr> <td>F</td> <td>59点以下</td> </tr> </tbody> </table>		評 価	得点分布	S	100点～90点	A	89点～80点	B	79点～70点	C	69点～60点	F	59点以下
評 価	得点分布												
S	100点～90点												
A	89点～80点												
B	79点～70点												
C	69点～60点												
F	59点以下												
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>													
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績評価を厳格に行いより教育効果を高めること、学生の学習意欲を触発し学習目標を明確化すること、成績評価基準を学外の評価基準に標準化し国際化を図ることを目的としてGPA制度を取り入れている。</p> <p>城西国際大学の成績評価は、</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(合格)</th> <th>(不合格)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>S: 100～90点</td> <td>F: 59点以下</td> </tr> <tr> <td>A: 89～80点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B: 79～70点</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C: 69～60点</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>S・A・B・Cの評価に対して、それぞれ4・3・2・1点のGrade Pointを与え、Grade Pointに各科目の単位数を掛け合わせ、その総計数を総履修単位数で割ることにより、平均点(Grade Point Average)を算出し、単位修得とは別の尺度で、当該学生の成績評価を行う。Grade Point Averageは成績通知表に記載している。</p> <p>[履修登録した各科目の(GP×単位数)の合計] ÷ [成績評価を受けた全科目の単位数合計]</p>		(合格)	(不合格)	S: 100～90点	F: 59点以下	A: 89～80点		B: 79～70点		C: 69～60点			
(合格)	(不合格)												
S: 100～90点	F: 59点以下												
A: 89～80点													
B: 79～70点													
C: 69～60点													
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/visitors/students/detail/id=16671</p>												
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>													

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

全ての学部において卒業に必要な単位数及びディプロマ・ポリシーを定めている。各学部において、卒業に係る学生の単位修得状況を基に作成された卒業判定資料を作成し、教授会で審議。その原案をもって、卒業判定会議で審議し、学長が決定している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホームページにて公表

<https://www.jiu.ac.jp/visitors/students/detail/id=16428>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	城西国際大学
設置者名	学校法人城西大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/kessan_2023.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/kessan_2023.pdf
財産目録	https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/zaisan_2023.pdf
事業報告書	https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/jigyou_2023.pdf
監事による監査報告(書)	https://www.josai.jp/about/kiso/pdf/kansa_2023.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/review/
--

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/review/
--

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 経営情報学部
<p>教育研究上の目的 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=663)</p>
<p>(概要) 経営情報学部は、グローバル化や情報通信技術の発展に即応する能力を有し、かつ、企業や行政等の組織、あるいは国際社会・地域社会が抱える諸課題の解決に主体的に向き合い、他者と協働しながら判断・行動できる「国際的に有為なマネジメント力のある人材」を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=663)</p>
<p>(概要) 経営情報学部総合経営学科は、所定の単位を取得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、「学士(経営情報)」の学位を授与します。 ・経営情報それぞれの分野に応じた専門的な知識を身に付け、適切に理解して活用することができる。 ・情報通信技術 (ICT) を活用して経営に係る分析ができ、新しい視点に立って経営活動に携わることができる。 ・多様な価値観について理解し、異文化社会に属する人々コミュニケーションをとりながら、積極的に連携・協働することができる。 ・社会人として必要な倫理と自律性、協調性を身に付け、ストレスコントロールをしながら適切にリーダーシップを発揮し、行動することができる。 ・企業、行政、教育等の現場において正しく状況を把握し、課題を発見し、解決に努めることができる。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=663)</p>
<p>(概要) 経営情報学部 総合経営学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、国際的な視野に立って「地域の多様性」を尊重し、多様な学問分野を融合させて実社会の課題を解決できるマネジメント力を身に付けた人材を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム (教育課程) を編成します。 ・経営情報学の基礎となる文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。 ・大学で主体的に学修する意欲、社会で求められる倫理観、課題を発見する力や課題を発見・解決する過程を考慮することができる社会人基礎力、及びキャリア形成に資する能力</p>

を身に付けるため、ビジネスキャリア関連科目で構成するキャリア形成科目群を設置する。

- ・経営学関連科目を中核とする専門分野の基礎知識を身に付けるため、経営、マーケティング、経済、会計、情報科学、スポーツマネジメント、スポーツ健康科学、環境等に係る総論的または基礎的な科目で構成する専門基礎科目群を設置する。
- ・専門基礎科目群で培った知識を土台に、一人ひとりの学修目標や進路に係る知識・技能を深めるため、経済社会のグローバル化に対応する専門性の高い経営、マーケティング、経済、会計、情報科学、スポーツマネジメント、スポーツ健康科学、環境等に係る専門的な科目で構成する専門科目群Ⅰを設置する。
- ・修得した知識・技能・態度を統合し、多様な人々とともに目標に向けて協力する力や主体的・協働的に諸課題に取り組む能力を高めるため、ゼミナール・プロジェクト研究等で構成する専門科目群Ⅱを設置する。
- ・専門的学修に裏打ちされた授業力と指導力、マネジメント力を兼ね備えた教員（保健体育科、社会科及び公民科）を育成するため、教職に関する科目で構成する専門科目群Ⅲを設置する。
- ・学位授与方針に基づき、学生一人ひとりの進路の実現に対応するため、2年次より以下7分野を設置する。

<総合経営コース：東金キャンパス>

① グローバルビジネス分野

ビジネスのボーダレス化に対応するため、経営、マーケティング、会計、情報科学分野の基礎及び国内外で求められる専門知識を総合的に学び、多文化社会でマネジメントできる力を身に付けるためのカリキュラムを設置する。

② スポーツマネジメント分野

生涯スポーツ社会を実現するため、スポーツ・健康科学やトレーニング理論の基礎、及びスポーツの実施や指導、健康の維持・増進に関する知識や方法を総合的に学び、それらを企業や地域、多様な人々の生活に応用し、マネジメントできる力を身に付けるためのカリキュラムを設置する。

③ 地域公共マネジメント分野

多様な人々と協働してよりよい公共サービスを実現するため、国や地域の課題を経営的な視点で捉え、情報、法律、経済、経営、環境など多様な分野の学びから修得した知識・技能・態度を統合し、雇用問題、福祉、地方自治、環境問題などの多様な課題の解決に必要な知識や判断方法を身に付けるためのカリキュラムを設置する。

<グローバル経営情報コース：紀尾井町キャンパス>

④ 経営分野

現代の経営を理解するために必要な経営学、経済学、マーケティング、ロジスティクスを学ぶとともに、企業などの組織の経営を担う力を身につけるためのカリキュラムを設置する。

⑤ 会計分野

ビジネスの共通言語である会計知識を中心に、今日の経済社会の様々な事象を理解するために必要とされるファイナンスや企業関連の諸法律も擁したカリキュラムを設置する。

⑥ 情報マネジメント分野 <グローバル経営情報コース：紀尾井町キャンパス>

Society5.0時代を生きる上で必須となる ICT 関連技術・知識を基礎から学び、企業などの組織の情報戦略を担う力を身につけるためのカリキュラムを設置する。

⑦ グローバル・コミュニケーション分野

「国際人」として必要な言語能力、異文化理解を基礎として、様々なビジネス分野で必要なコミュニケーション力を鍛錬するためのカリキュラムを設置する。

- ・アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する

<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=663)</p>
<p>(概要) 経営情報学部では、本学部の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経営学及び情報科学分野等に関心を有し、その学修を通じて、企業、行政、スポーツ・健康、情報、教育、環境分野等で将来活躍するという目的意識を持っている人 2. 国際社会・地域社会・産業界等で通用する思考力、判断力及び表現力を身につけるため、主体的に取り組むことを目指す人 3. 学生相互あるいは教員と共に協働しながら、学び合うことを目指す人 4. 本学部での学びを通じて、積極的に異文化との交流を図ろうとする意欲のある人 5. スポーツや文化活動並びに、社会活動に積極的に取り組むことを目指す人

<p>学部等名 国際人文学部</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=665)</p>
<p>(概要) 国際人文学部は、語学力と国際的な教養、社会人に必要な知識とスキルを十分に身に付け、国際社会で活躍できる人材を養成する。</p> <p>国際文化学科 国際文化学科は、国際的な視野をもって語学力と異文化理解に優れ、柔軟な発想と行動力を備えた人材を養成する。</p> <p>国際交流学科 国際交流学科は、実践的な語学力、国際交流のための知識及びコミュニケーション能力を身に付けた人材を養成する</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=665)</p>
<p>(概要) 国際文化学科 国際人文学部 国際文化学科は、所定の単位を取得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（国際文化）の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文化の多様性を認識し、そのグローバル化の様相を理解することができる。 2. 世界の中の日本の姿を認識し、理解することができる。 3. 自身がおもに学ぶ国や地域の言語・文化・社会について基本的な知識を身に付け、適

切に理解することができる。

4. 一つ以上の外国語について、日常生活に必要な言語運用ができる。
5. 日本語を正確に理解し、論理的な文章を書くと同時に、自らの見解をわかりやすく伝達することができる。
6. 必要な情報を適切な方法で収集し、クリティカルな態度をもって分析、活用することができる。
7. 異文化社会に属する、多様な価値観や思考様式を持つ人々との相互理解に努め、協調・協働して行動することができる。
8. 習得した教養や技能を活かして、グローバル社会を多面的に捉え、そこから見解を形成し、課題の発見と解決に努めることができる。

国際交流学科

国際人文学部 国際交流学科は、所定の単位を取得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（国際交流）の学位を授与します。

1. 日本語、英語、選択した第二外国語を読み、書き、聞き、話すことによって、適切なコミュニケーションをはかることができる。
2. 国際的な視点から、日本語と、日本の文化と社会を理解できる。
3. 国際交流を積極的に進め、国際的な場で協働を行うために前提となる諸要素について理解することができる。
4. 言語、文化、社会の多様性を認め、国際社会の課題を発見することができる。
5. 自ら見出した課題について、適切な方法で情報収集・検討・考察し、その結果や自己の見解を、効果的な形で発表・活用することができる。
6. 課題解決に向けて自ら考え、努力し、その過程を協調性やリーダーシップをもって他者と分かち合うことができる。
7. 国際交流の知識とコミュニケーション能力を活用し、国際社会の発展に貢献することを目指して行動することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

（公表方法：ホームページにて公表

<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=665>）

（概要）

国際文化学科

国際人文学部 国際文化学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、グローバル人材を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。

1. 文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
2. 学生生活を充実させ、キャリア形成や生涯学習に資する主体的・自律的な学びを実現するため、導入期教育・ポートフォリオなどに関するキャリア形成科目群を設置する。
3. グローバル化する文化や社会、コミュニケーションのあり方について多様な切り口から学び、国際社会に生きる人間にとっての教養を身に付け、人文学を学ぶことの意義を明確にできるように、学部コア科目群を設置する。
4. グローバル社会における教養としての言語、専門分野の学修に必要な言語を身に付けるため、外国語科目群を設置する。
5. 言語、文学、美術、歴史、社会、ジェンダー、比較文化など、専門分野の学びの基礎を身に付けるため、専門基礎科目群を設置する。
6. 日本、アジア、アメリカ、ヨーロッパなど、世界の文化に関する専門知識を身に付け、活用できるように、専門科目群 I を設置する。

7. 韓国及び韓国語が使用される地域の言語・文化・社会についてより深く探究するため、専門科目群Ⅱを設置する。
8. 演習及び研修・インターンシップを通して、専門分野の学びの集大成をはかるため、専門科目群Ⅲを設置する。
9. 専門分野の学びをより広げ、卒業後の進路や就業に結び付けたキャリア形成をはかるため、言語・文化・社会関連科目からなる専門科目群Ⅳを設置する。
10. 専門分野の学びに係る教育職員免許状や学芸員資格などを取得するため、教職・学芸員関連科目群を設置する。
11. 比較の観点や学際的な視点を身に付け、文化をより深く理解するため、専門分野以外の科目を履修することを奨励し、自主選択科目枠を設置する。
12. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。

国際交流学科

国際人文学部 国際交流学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、国内外の国際的な場で活躍できる人材を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム(教育課程)を編成します。

1. 文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
2. 学生生活及び卒業後の社会生活の充実を目指し、持続的なキャリア形成や生涯学習に資する意識形成をはかり、主体的・自律的な学修方法を修得するため、導入期教育・ポートフォリオ作成を含むキャリア形成科目群を設置する。
3. グローバル化する文化や社会、コミュニケーションのあり方について多様な切り口から学び、国際社会に生きる人間としての教養を身に付け、人文学を学ぶことの意義を明確にできるように、学部コア科目群を設置する。
4. 実践的な英語コミュニケーション能力、第二外国語能力、留学生・指定された帰国生徒等が日本語コミュニケーション能力を身に付けるため、外国語科目群を設置する。
5. 世界の文化、国際社会・国際交流・国際協力・国際コミュニケーションについて、専門領域の基礎を学ぶため、専門基礎科目群を設置する。
6. 国際社会や国際関係について学び、異文化理解と国際交流、国際協力に必要な知識と実践力を身に付けるため、専門科目群Ⅰを設置する。
7. 言語や異文化などを切り口に国際コミュニケーションについて学び、専門的な知識・技能とコミュニケーション能力を身に付けるため、専門科目群Ⅱを設置する。
8. 日本語教員養成に係る専門的な知識・技能とコミュニケーション能力を身に付けるため、専門科目群Ⅲを設置する。
9. 演習及び研修・インターンシップを通して、専門的な知識を学び、その実践と発展をはかるため、専門科目群Ⅳを設置する。
10. 専門分野の学びに係る教育職員免許状を取得するため、英語教員養成科目群を設置する。
11. 多様な学びを実現し、学生が自らの学びを深めるために、自主選択科目枠を設置する。
12. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。

入学者の受入れに関する方針

(公表方法：ホームページにて公表)

<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=665>)

<p>(概要)</p> <p>国際文化学科 国際文化学科では、本学科の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自身の思考や意見をわかりやすくまとめ、伝えることを目指す人 2. 必要な情報を適切な方法で収集・選別し、活用することを目指す人 3. 日本及び世界の文化、社会、政治、経済に強い関心がある人 4. 多様な文化背景を持つ人々との関わりから日本及び世界の文化・生活・社会などを学ぶ意欲がある人 5. 様々な言語に興味があり、ICT（情報通信技術）で世界の人々とつながりたいと思っている人 6. 学習意欲を持ち、論理的な思考力、問題解決能力を身につけることに熱意がある人 <p>国際交流学科 国際交流学科では、本学科の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自身の思考や意見をわかりやすくまとめ、伝えることを目指す人 2. 必要な情報を適切な方法で収集・選別し、活用することを目指す人 3. 英語で基礎的なコミュニケーションを行うことを目指す人 4. 英語に興味を持ち、英語力を高めたいという意欲を持っている人 5. 積極的に周囲の人とコミュニケーションを取り、その能力を高めたい人 6. 留学・研修などの海外協定校とのプログラムに積極的に参加したいと考えている人 7. 将来、国内・国外を問わず、国際的な場で活躍を目指す人
--

<p>学部等名 福祉総合学部</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=667)</p>
<p>(概要)</p> <p>福祉総合学部 福祉総合学部は、国際的・地域的視点から福祉・医療の問題に関心を持ち、自己の専門性の向上に向けて探求できる人材を養成する。</p> <p>福祉総合学科 福祉総合学科は、持続可能な福祉社会の実現を目指して、社会環境の変化に対応し、様々な問題の解決に貢献できる福祉人材を養成する。</p> <p>理学療法学科 理学療法学科は、国際的視野を持ちながら、科学的知見に基づく新しい時代の理学療法学を目指し、専門職の学問的内容に見識を有する人材を養成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：ホームページにて公表)</p>

<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=667>)

(概要)

福祉総合学科

福祉総合学部 福祉総合学科は、所定の単位を取得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（福祉総合）の学位を授与します。

1. 福祉について基本的な知識を身に付け、適切に理解して活用することができる。
2. 福祉、保育、行政の現状を理解し、現場で必要な知識・技能を活かして、主体的に課題を探究することができる。
3. すべての人々の福祉の増進を目指し、社会人として必要な倫理性と人権意識を身に付け、多様な価値観を尊重して行動することができる。
4. 専門的な知識や技能に基づいて、論理的かつ批判的思考力及び規範的判断力を身に付け、主体的に活用することができる。
5. 国際的・地域的双方の視点から、国境や文化の境を越えて共感し行動することができる。
6. 生涯学習する意欲と能力を身に付け、持続可能な社会、孤立や排除の無い社会づくりに連携・協働しながら貢献することができる。

理学療法学科

福祉総合学部 理学療法学科は、所定の単位を取得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（理学療法）の学位を授与します。

1. 理学療法について基本的な知識を身に付け、適切に理解して活用することができる。
2. 理学療法を提供するために必要な技能を身に付け、活用することができる。
3. グローバル化及び少子高齢化が進む社会において求められる語学力、情報リテラシー、組織運営のマネジメントについて理解し活用することができる。
4. 理学療法の提供に必要な倫理観を身に付け、人の尊厳について理解し行動することができる。
5. 国内外を問わず、急速に変化する社会情勢に目を向けながら、医療、保健、福祉に関する問題に関心を持ち、その理解に向けて考え行動することができる。
6. 習得した知識・技能を活かして、主体的に目標を立てて行動し、課題を発見し、解決に努めることができる。
7. 生涯学習する意欲と能力を身に付け、多職種間で連携・協働するための知識、コミュニケーション能力、思考力、協調性を持って行動することができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：ホームページにて公表)

<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=667>)

(概要)

福祉総合学科

福祉総合学部 福祉総合学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、学生一人ひとりの資格取得やキャリア目標に即して、福祉、医療、保健の専門性を身に付けた人材を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。

1. 福祉を学ぶ基礎となる文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
2. 国内外における地域を基盤とした実践現場での研修や実習などを通じて、キャリア形成や生涯学習に資する主体的・自律的な学びを実現するため、キャリア形成科目群を設置する。

3. 専門分野の共通基盤（学士専門力）を体系的に身に付け、より広い視野から福祉を考えるため、学科の学びの基礎となる専門基礎科目群を設置する。
4. 実践力と総合力を体系的に身に付け、専門分野を深く学ぶための基盤（学士専門力）を形成するため、各コースは以下の内容からなる専門科目群を設置する。

社会福祉コース

- ・福祉に関する幅広い知識と教養を身に付けるための科目を設置する。
- ・対象者理解を深め、専門的な知識・技能を習得するための科目を設置する。
- ・社会環境や多様化するニーズを理解し、人と環境を包括的に捉え、孤立や排除のない地域づくりに貢献できる力を身に付けるための科目を設置する。
- ・課題を自発的に探求し、問題解決能力を身に付けるための演習・実習に関する科目を設置する

子ども福祉コース

- ・子どもの育ちを支える専門的知識・技能を身に付けるための科目を設置する。
- ・遊びを通じた発達の援助を自発的に実践する力を身に付けるための科目を設置する。
- ・子どもの教育や保育の課題を国際的・地域的視点から捉え、考える力を身に付けるための科目を設置する。
- ・子どもの教育・保育だけでなく、女性・家族が抱える福祉的課題について問題意識を持ち、ソーシャルワークを効果的に活用する力を身に付けるための科目を設置する。

福祉マネジメントコース

- ・社会を構成する人間の理解を深めるための科目を設置する。
- ・現代社会が直面する様々な社会課題を理解するための科目を設置する。
- ・多様性に寛容な社会、SDGs を達成できる社会、皆で力を合わせて活動できる社会の構築に必要な実践的な能力を身に付けるための科目を設置する。
- ・社会における多様な主体との協働に対応する力を身に付けるための科目を設置する。

5. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。

理学療法学科

福祉総合学部 理学療法学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、理学療法士として必要な理学療法、医療、福祉の専門性を身に付けた人材を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。

1. 理学療法を学ぶ基礎となる文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
2. 急速に進むグローバル化に対応し、国内外の国際的な場で活躍できる人材を育成するため、国際的素養を身に付けるための学科共通科目群Ⅰを設置する。
3. 科学的思考の基礎を身に付けるため、基礎医学や臨床医学、理学療法に係る総論的または基礎的な科目で構成する学科共通科目群Ⅱを設置する。
4. 社会人として前向きに問題解決をはかる能力を身に付けるため、職業意識を高め、職業能力について考察を深めるための科目からなるキャリア形成科目群を設置する。
5. 専門分野の共通基盤（学士専門力）を体系的に身に付け、より広い視野から理学療法について考えるため、人体の構造と機能及び心身の発達について学ぶ専門基礎科目群Ⅰ、疾病と障害の成りたち及び回復過程の促進について学ぶ専門基礎科目群Ⅱ、保健医療福祉とリハビリテーションの理念について学ぶ専門基礎科目群Ⅲを設置するほか、各学部との連携教育や学科共通基礎知識を発展させるための科目を設置する。
6. 理学療法について体系的かつ総合的に理解するため、基礎理学療法学について学ぶ専門

科目群Ⅰ、理学療法管理学、理学療法評価学、理学療法治療学、地域理学療法学会について学ぶ専門科目群Ⅱ、職業現場で活用できる実践力を身に付けるために専門科目群Ⅲを設置する。

7. 専門職種での連携・協働に必要な知識・技能を身に付けるため、問題基盤型学習（PBL テュートリアル）やポートフォリオによる自己評価を重視した演習科目を設置する。
8. 理学療法の知識・技能を総合的に高めるために理学療法総合演習を、臨床実践能力の確認・向上のために客観的臨床能力試験（OSCE）を含む理学療法セミナーを設置する。
9. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。

入学者の受入れに関する方針

（公表方法：ホームページにて公表

<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=667>）

（概要）

福祉総合学科

福祉総合学科では、本学科の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。

1. 人々の気持ちに寄り添い、地域の様々な社会的課題を認識し、その具体的解決策の提案・解決を図ることを身につけたい人
2. 国際的な視点から、多様な価値観を理解し、連携・協働して、共生社会・持続可能な社会の実現に貢献したいと考えている人
3. 福祉や介護、保育の専門性を活かして地域に貢献し、人々の役に立ちたいと思っている人

理学療法学科

理学療法学科では、本学科の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。

1. 理学療法士に必要な知識・技能を身に付け、幅広く活躍したい人
2. 自分の目標を立て、実現に向けて継続して努力したい人
3. 生命の尊さを理解し、他者への思いやりを持つ人
4. 多様な文化や価値観に好奇心を持ち、チャレンジ精神が旺盛な人
5. 多職種間の連携に興味を持ち、他分野の人の意見を傾聴する力を身に付けたい人

学部等名 メディア学部

教育研究上の目的

（公表方法：ホームページにて公表

<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=669>）

<p>(概要)</p> <p>メディア学部は、「表現力」「コミュニケーション力」「コラボレーション力」を高め、複合的にビジネスコミュニケーションを展開できる創造的な人材を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：ホームページにて公表)</p> <p>https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=669)</p>
<p>(概要)</p> <p>メディア学部は、以下に掲げる能力を有し、かつ所定の単位を修得した上で、ゼミ研究における研究成果を認定された学生に、「学士（メディア情報）」の学位を授与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メディア産業の現状と変化のあり方を理解し、適切かつ戦略的に自身のキャリアをデザインできる。 ・グローバル化と多様化が一層進展する社会の中で、国内外でグローバルな仕事に従事し、そこで活躍することが出来る視座を有している。 ・集団で作品を生み出す作業に当たるための知識と経験をもち、協調性をもって実践的に活用できる。 ・習得した技術や抽象的概念を言葉やカタチに具現化する能力を持ち、そこにおいて文化的または経済的価値を付加できる。 ・正答の無い課題を解決する能力と世の中に未だ存在していないものを新たに創造する能力を備え、クリエイティブな活動に自発的に取り組む向上心とチャレンジ精神を有している。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：ホームページにて公表)</p> <p>https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=669)</p>
<p>(概要)</p> <p>メディア学部では、メディアとテクノロジーが共進化し、グローバル化と多様性が急速に進展する時代において、エンタテインメント産業が求める、クリエイティブな人材を育成するため、以下のようなカリキュラムを編成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテンツ産業でグローバルに活躍できる人材育成のために、国際コミュニケーション力を高め、実践的な語学力を身につけるための科目を学科共通科目群Ⅰ（語学）に配置する。 ・情報化がより一層進展する状況において、メディア技術を適切に用いることによって効果的な情報発信を出来る能力を養うため、コンピュータの基本操作からビジネス文章、映像・サウンド、SNSの活用までを学ぶことのできる科目を学科共通科目群Ⅱ（情報）に配置する。 ・現代社会における教養として、社会や経済の基本を学ぶことのできる科目を学科共通科目群Ⅲ（教養）に配置する。 ・コンテンツ産業へのスムーズな就職を目指し、学生が自己を啓発し大学卒業時及びその後のキャリアアップに関する視座を獲得できるようにするため、メディア業界と自身の競争力を考える科目、自身の競争力を養うための科目をキャリア形成科目群に配置する。 ・自身の選択する特定の専門分野の基礎としてのみならず、関連する他の専門領域についても専門的に学ぶ機会を提供すべく、自身の専門科目に限定せずに履修することのできる科目を専門基礎科目群Ⅰ（メディア基礎）に配置する。

- ・環境変化の激しい時代において、そうした変化に耐えうる知識と、自ら答えを求める力としての教養を重視し、メディアテクノロジー、文化、伝統、グローバリズムに関して幅広い知識を習得するための科目を専門基礎科目群Ⅱ（メディア教養）に配置する。
- ・専門科目群Ⅰ－Ⅴでは、東金キャンパスに設置するニューメディアコースと、紀尾井町キャンパスに設置する映像芸術コースごとに、専門分野を体系的に学ぶカリキュラムを編成する。

ニューメディアコースでは、「メディアアーツ」「メディアテクノロジー」「メディアデザイン」の3分野を設置し、映像、サウンド、メディアサイエンス、プログラミング、アート、デザインなどの知識と技術を学び、作品作りを通してそれぞれの専門性を身につける。また同時にこの3分野を横断的に学ぶことで、「柔軟性（フレキシビリティ）」「機動性（モビリティ）」「創造性（クリエイティビティ）」「多様性（ダイバーシティ）」をもって、新たな表現を生み出す力を持った人材を育成できる科目を配置する。

映像芸術コースでは、映像演出、映像技術、映像美術、アニメーション・CG、サウンド・音楽、ステージ、芸能、エンタテインメント・ビジネスの8つの専門分野において実習とビジネスを生み出す知識取得の科目を配置する。実習の科目では、それぞれの分野での技術の学習と同時に、その技術の裏付けとなる論理的思考を取得できるカリキュラムを構成する。また、変化するビジネス環境においてクリエイティブな場面で活躍するクリエイティブ・リーダーを育成することを目的とした、各分野のビジネスの現状と今後を学ぶことができる科目を配置する。

- ・専門科目群Ⅵ（ゼミ研究・実践）では、演習および研修・インターンシップを通して、専門的な知識を学び、その実践と発展を図るための専門科目を配置する。

入学者の受入れに関する方針

（公表方法：ホームページにて公表

<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=669>）

（概要）

メディア学部では、本学部の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。

1. 自身の思考を言葉、文字、身体表現で発信するためのコミュニケーション力を身につけ、社会と積極的に交流する意思を持っている人
2. 芸能・映像・ステージ・サウンド・エンタテインメントビジネス・ニューメディアのいずれかの分野において、表現力やスキルを身につけたい人企画力、問題解決力、情報発信力などを身につけるための学習意欲がある人。
3. 社会が求める教養と専門的な知識・技能の習得に主体的に取り組み、将来エンタテインメントやコンテンツビジネスなど、クリエイティブ産業で活躍する意欲がある人
4. 豊かな人間性を身につけ、専門的な知識・技能で地域社会・国際社会・産業界等に貢献することに価値を見出し、他者と積極的にコミュニケーションを取りながら活動したい人
5. 企画力、問題解決力、情報発信力などを積極的に身につける意志を持ち、身につけた知性を適切に表現する意欲がある人

学部等名 薬学部

<p>教育研究上の目的 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=664)</p>
<p>(概要) 薬学部は、超高齢化と国際化が進む日本社会において、質が高く安全・安心な医療サービスを提供し、健康的で豊かな生活を支援できる薬剤師を養成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=664)</p>
<p>(概要) 薬学部 医療薬学科は、所定の単位を取得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（薬学）の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「医療人としての資質」 生命の尊厳や患者・生活者の権利について理解し、医療従事者に求められる倫理観と責任感を持って行動することができる。 2. 「薬学に係る総合的知識」 薬学に係る総合的な知識を身につける。 3. 「薬物治療の実践的能力」 個別最適化した薬物治療の計画を立案し、医薬品の適正かつ安全な使用のための薬学的管理ができる。 4. 「コミュニケーション能力」 一人ひとりの健康な生活を支えるため、医療従事者に求められるコミュニケーション能力を身につけ、適切に活用できる。 5. 「多職種連携能力」 医療・福祉・公衆衛生における多職種連携に参加し、薬の専門家として積極的にコミュニケーションが図れる。 6. 「課題発見・問題解決能力」 薬学的視点に基づき課題を発見し、科学的手法を用いて解決に向けて探究できる。 7. 「情報・科学技術の活用能力」 多様な医療・福祉・公衆衛生の課題に対し、解決に向けて情報・科学技術を適切に活用できる。 8. 「生涯学習の実践」 自己実現に向けて、生涯にわたり薬学に係る知識・技能の向上に研鑽する姿勢を示す。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=664)</p>
<p>(概要) 薬学部 医療薬学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、薬剤師としての専門性を身に付けた医療人を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. DP1「医療人としての資質」を身につけるため、キャリア形成科目群（医療倫理、薬剤師

<p>倫理、ライフステージ IPE 等)、専門科目群 I (薬事関係法規、病院・薬局事前学習等) 及び専門科目群 II (病院・薬局実務実習、卒業研究及び卒業論文等) を設置する。</p> <p>2. DP2「薬学に係る総合的知識」を身につけるため、薬学専門科目群 I (基礎薬学科目医療薬学系科目、衛生薬学系科目等) を設置する。</p> <p>3. DP3「薬物治療の実践的能力」を身につけるため、専門科目群 I (基礎薬学科目、医療薬学系科目、病院・薬局事前学習等) 及び専門科目群 II (病院・薬局実務実習等) を設置する。</p> <p>4. DP4「コミュニケーション能力」を醸成するため、キャリア形成科目群 (薬学概論、コミュニケーション論演習等)、専門科目群 I (医療薬学基礎ゼミ、病院・薬局事前学習等) 及び専門科目群 II (病院・薬局実務実習、卒業研究及び卒業論文等) を設置する。</p> <p>5. DP5「多職種連携能力」を身につけるため、キャリア形成科目群 (薬学概論、ライフステージ IPE 等)、専門科目群 I (病院・薬局事前学習) 及び専門科目群 II (病院・薬局実務実習) を設置する。</p> <p>6. DP6「課題発見・問題解決能力」を身につけるため、専門科目群実習科目等) 及び専門科目群 II (病院・薬局実務実習、卒業研究及び卒業論文等) を設置する。</p> <p>7. DP7「情報・科学技術の活用能力」を身につけるため、全学共通基盤科目群 (データサイエンス I)、キャリア形成科目群 (情報メディア演習等)、専門科目群 I (医薬品情報学、医療統計学、実習科目、病院・薬局事前学習等) 及び専門科目群 II (病院・薬局実務実習、卒業研究及び卒業論文等) を設置する。</p> <p>8. DP8「生涯学習の実践」に必要な姿勢や態度を身につけるため、全学基盤共通科目群、キャリア形成科目群、薬学専門科目群及びを設置する。</p> <p>9. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=664)</p>
<p>(概要) 薬学部では、本学部の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 修学に必要な基礎的な知識があり、主体的に学ぶ意欲がある人 2. 医療人として必要な基本姿勢・態度を身につける意欲がある人 3. 薬学を通して、地域社会・国際社会での活動に参加を目指す人 4. 多様な文化・価値観の中で、他者の意見を聞き、自分の考えを表現し、積極的なコミュニケーション力を身につけたい人

<p>学部等名 観光学部</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=666)</p>

<p>(概要)</p> <p>観光学部は、社会が求める実践力と新たな価値を創造し実行するデザイン力を備え、これからの観光ビジネスや地域社会に貢献できる人材を育成する</p>
<p>卒業の認定に関する方針</p> <p>(公表方法：ホームページにて公表)</p> <p>https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=666)</p>
<p>(概要)</p> <p>観光学部 観光学科は、所定の単位を取得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（観光学）の学位を授与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光と社会の双方について基本的な知識を身に付け、適切に理解して活用することができる。 ・グローバルな視点から、多様な背景、価値観、文化を持つ人々を理解する教養を身に付け、適切に理解して行動することができる。 ・国内外でグローバル化が進む社会において求められる語学力、情報リテラシー、プロジェクトのマネジメントについて理解し活用することができる。 ・グループワークに必要なコミュニケーション能力を身に付け、相手の立場に立って考え、共感力を引き出すことができる。 ・社会人として必要な倫理性を身に付け、多様な価値観を認める寛容さと他者理解の上に立つ共感力、豊かな表現力を持って、持続可能な社会の構築に向けて連携・協働することができる。 ・現場での活動を通して身に付けた「やり抜く力」を活かし、主体的に課題を発見し、解決に向けて行動することができる。 ・生涯にわたって学習し自己研鑽を重ねる意欲のもと、社会が求める知識・技能を持続的に高めながら、観光の新しい価値の創出に努めることができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針</p> <p>(公表方法：ホームページにて公表)</p> <p>https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=666)</p>
<p>(概要)</p> <p>観光学部 観光学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、社会が求める実践力と新たな価値を創造し実行するデザイン力を身に付け、これからの観光ビジネスや地域社会に貢献できる人材を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光学の基礎となる文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。 ・学生生活及び卒業後の社会生活を充実させ、持続的なキャリア形成や生涯学習に資する意識形成及び主体的・自律的な学修方法を修得するため、導入期教育、ポートフォリオ作成を含めたキャリア形成科目、国内外の研修・インターンシップに係る科目からなるキャリア形成科目群を設置する。 ・裾野が広く変化し続ける観光の専門分野を深く学ぶための基盤となる専門性を体系的に身に付けるため、観光政策や観光資源などの観光学に係る科目に加え、観光ビジネス分野、観光まちづくり分野、観光メディア分野の基礎科目からなる専門基礎科目群を設置する。

<ul style="list-style-type: none"> ・旅行、宿泊、交通、飲食、イベント等の観光ビジネス分野で活躍できる人材、地域活性化を牽引する観光まちづくりに貢献できる人材、観光に係る多角的な広報活動・情報発信等の観光メディアに精通した人材を育成するため、観光専門分野の科目からなる専門科目群Ⅰを設置する。 ・「現場」を通して課題を発見し、新たな価値を創り出す能力を身に付けるため、課題発見・課題解決を実践するプロジェクト型演習科目、広報活動や情報発信のために様々なメディア媒体を活用するメディア系演習科目、理論と実践を深化統合させるための観光ゼミナール及び卒業論文からなる専門科目群Ⅱを設置する。 ・アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。
<p>入学者の受入れに関する方針 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=666)</p>
<p>(概要) 観光学部では、本学部の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会が求める教養と観光分野の専門的知識・技能の修得に努めたい人 2. 言語力と自己表現力を身につけ、国際社会・地域社会・産業界等で貢献したい人 3. 社会とりわけ観光分野の問題を認識し、解決したい人 4. 新しい観光の価値を創り出したい人 5. 社会との連携・協働を通じて多様な価値観を認識し、他者と積極的に関わることで自己実現したい人

<p>学部等名 看護学部</p>
<p>教育研究上の目的 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=670)</p>
<p>(概要) 看護学部は、学際的知見に裏付けられた新しい時代の看護を目指し、人の尊厳を守り、人間性豊かで、異文化理解や薬学・福祉に明るい、探究心と倫理性を兼ね備えた看護職者を養成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針 (公表方法：ホームページにて公表 https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=670)</p>
<p>(概要) 看護学部 看護学科は、所定の単位を取得し、かつ以下に該当すると判断した場合に、学士（看護学）の学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 看護について基盤となる知識を身に付け、活用することができる。 2. グローバルな視点で、多様な背景、価値観、文化を持つ人々を理解するために教養と寛容さを身に付け、行動することができる。

3. 安全・安心・安楽な看護技術を身に付け、実践することができる。
4. 看護専門職として必要なコミュニケーション能力を身に付け、活用することができる。
5. あらゆる場でチームの一員として、連携・協働し、看護を実践することができる。
6. 地域で暮らす人々の健康を支援するための情報を収集・分析・統合することができる。
7. 看護に必要な倫理観、人の生命や人としての尊厳と権利を尊重する態度を身に付け、行動することができる。
8. 国内外を問わず、急速に変化する社会情勢に目を向け、人々の健康問題解決に向けて考え行動することができる。
9. 看護専門職として生涯にわたり研鑽し続けることができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針

(公表方法：ホームページにて公表)

<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=670>

(概要)

看護学部 看護学科では、教育研究上の目的及び学位授与方針に基づき、国際的視野をもって常に変化する社会情勢や多様な対象のニーズに対応できる知識・技能を身に付け、地域に貢献できる看護職者を育成するため、以下に掲げる方針によりカリキュラム（教育課程）を編成します。

1. 看護学の基礎となる文理融合型リベラルアーツとして、幅広い教養、新たなリテラシー及び総合的な洞察力を身に付けるため、全学部共通基盤科目群を設置する。
2. グローバル化による社会のニーズに応え、多様な対象を理解し尊重するためのグローバルリテラシー科目群を設置する。
3. 看護の対象である人および人を取りまく環境や新しい技術への理解を深めるための看護基盤科目群を設置する。
4. 専門職の役割を考えながら能動的に学修し、キャリア形成の基盤を身に付けるため、キャリア形成科目群を設置する。
5. 専門職の基盤となる専門性を体系的に身に付けるため、保健、医療、福祉の知識・技能、連携について学ぶ専門基礎科目群Ⅰ、専門基礎科目群Ⅱを設置する。
6. 看護学の基本、ライフステージ、健康レベル、生活の場の違いに対応した看護実践力を身に付けるため、専門科目群Ⅰ、専門科目群Ⅱ、専門科目群Ⅲを、多様化、複雑化した状況下にある看護並びに看護職者の倫理や役割の理解を深めるため専門科目群Ⅳを設置する。
7. 専門的な国家試験受験資格、免許を取得するため、保健師課程、助産師課程、教職課程に必要な科目からなる自由科目群を設置する。
8. アセスメント・ポリシーに基づく学修アセスメント・プランを提示し、学位授与方針に示す能力の修得状況及び学生の成長に伴う達成度を客観的に測定、評価する。

入学者の受入れに関する方針

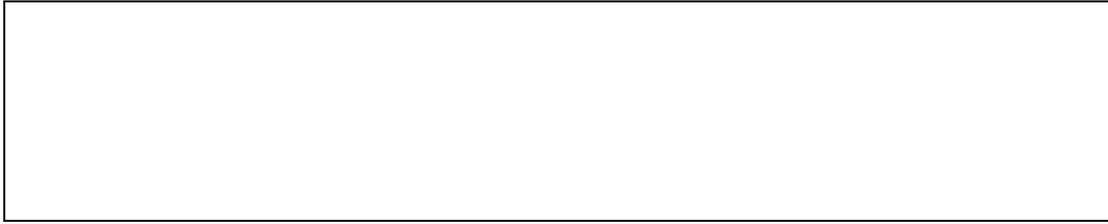
(公表方法：ホームページにて公表)

<https://www.jiu.ac.jp/about/information/detail/id=670>

(概要)

看護学部では、本学部の教育方針に共感し、以下のいずれかに当てはまる人を求めます。

1. 多様な価値観を認め合う寛容さを持ち、自己や他者を大切にできる人
2. 他者とコミュニケーションを取り、協働できる人
3. 看護専門知識・技能の習得や関心のあることに主体的に取り組むことができる人
4. グローバルな活動に関心を持っている人



②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページにて公表

https://www.jiu.ac.jp/files/user/about/information/pdf/jiu_organization_chart2024.pdf

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
経営情報学部	—	14人	13人	0人	4人	0人	31人
国際人文学部	—	15人	10人	0人	4人	0人	29人
福祉総合学部	—	15人	8人	0人	12人	0人	35人
薬学部	—	20人	8人	0人	6人	2人	36人
メディア学部	—	12人	11人	0人	7人	0人	30人
観光学部	—	8人	4人	0人	1人	0人	13人
看護学部	—	12人	9人	0人	13人	3人	37人
大学院	—	1人	0人	0人	0人	0人	1人
語学教育センター	—	3人	3人	0人	10人	0人	16人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		205人					205人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：ホームページにて公表 https://jiu-unipa.jiu.ac.jp/kgResult/japanese/index.html					
c. F D（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
経営情報学部	410人	300人	73%	1700人	1448人	85%	30人	21人
国際人文学部	200人	148人	74%	820人	689人	84%	10人	7人
福祉総合学部	220人	114人	52%	890人	558人	63%	5人	26人
薬学部	110人	30人	27%	660人	438人	66%	0人	0人
メディア学部	370人	370人	100%	1540人	1571人	102%	30人	12人
観光学部	100人	64人	64%	400人	347人	87%	0人	0人
看護学部	100人	104人	104%	400人	428人	107%	0人	0人
合計	1510人	1130人	75%	6410人	5479人	85%	75人	66人
(備考)								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
経営情報学部	361人 (100%)	3人 (0.8%)	287人 (79.5%)	71人 (19.7%)
国際人文学部	205人 (100%)	4人 (2%)	137人 (66.8%)	64人 (31.2%)
福祉総合学部	159人 (100%)	1人 (0.6%)	121人 (76.1%)	37人 (23.3%)
薬学部	69人 (100%)	1人 (1.4%)	46人 (66.7%)	22人 (31.9%)
メディア学部	390人 (100%)	5人 (1.3%)	276人 (70.8%)	109人 (27.9%)
観光学部	114人 (100%)	9人 (7.9%)	84人 (73.7%)	21人 (18.4%)
看護学部	100人 (100%)	3人 (3%)	93人 (93%)	4人 (4%)
合計	1398人 (100%)	26人 (1.9%)	1044人 (74.7%)	328人 (23.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要)
学生便覧に各学部の設置科目を掲載し、カリキュラムツリーを Web 上で公開し、授業科目の順次制・連続性の可視化に努めている。授業の方法についてはシラバスに記載し、また、年間の授業計画が分かるよう行事予定表（学年暦）を作成し公開している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)				
シラバスに各科目の到達目標を示し、一部の科目ではルーブリック評価を取り入れるなど学修成果の可視化を行っている。卒業認定については、本学学則第 26 条および本学学位規程に定めている。また、各学部でディプロマ・ポリシー（DP）を定め、公開している。				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	G P A 制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
経営情報学部	総合経営学科	124 単位	有・無	単位
国際人文学部	国際文化学科	126 単位	有・無	単位
	国際交流学科	126 単位	有・無	単位
福祉総合学部	福祉総合学科	124 単位	有・無	単位
	理学療法学科	124 単位	有・無	単位
薬学部	医療薬学科	186 単位	有・無	単位
メディア学部	メディア情報学科	126 単位	有・無	単位
観光学部	観光学科	124 単位	有・無	単位
看護学部	看護学科	126 単位	有・無	単位
G P A の活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：ホームページにて公表

<https://www.jiu.ac.jp/about/information/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

初年度納付金

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
経営情報学部	総合経営学科	800,000円	270,000円	240,000円	その他は施設設備費
国際人文学部	国際文化学科	800,000円	270,000円	240,000円	その他は施設設備費
	国際交流学科	800,000円	270,000円	240,000円	その他は施設設備費
福祉総合学部	福祉総合学科	800,000円	270,000円	240,000円	その他は施設設備費
	理学療法学科	900,000円	270,000円	480,000円	その他は施設設備費、実習費
薬学部	医療薬学科	1,430,000円	400,000円	186,000円	その他は施設設備費
メディア学部	メディア情報学科 (ニューメディアコース)	800,000円	270,000円	240,000円	その他は施設設備費
	メディア情報学科 (映像芸術コース)	900,000円	270,000円	390,000円	その他は施設設備費
観光学部	観光学科	800,000円	270,000円	240,000円	その他は施設設備費
看護学部	看護学科	1,000,000円	270,000円	580,000円	その他は施設設備費、実習費

初年度以降の納付金

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
経営情報学部	総合経営学科	800,000円		300,000円	その他は施設設備費
国際人文学部	国際文化学科	800,000円		300,000円	その他は施設設備費
	国際交流学科	800,000円		300,000円	その他は施設設備費
福祉総合学部	福祉総合学科	800,000円		300,000円	その他は施設設備費
	理学療法学科	900,000円		680,000円	その他は施設設備費、実習費
薬学部	医療薬学科	1,430,000円		666,000円	その他は施設設備費
メディア学部	メディア情報学科 (ニューメディアコース)	800,000円		300,000円	その他は施設設備費
	メディア情報学科 (映像芸術コース)	900,000円		450,000円	その他は施設設備費
観光学部	観光学科	800,000円		300,000円	その他は施設設備費
看護学部	看護学科	1,000,000円		580,000円	その他は施設設備費、実習費

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

<p>a. 学生の修学に係る支援に関する取組</p>
<p>(概要)</p> <p>大学独自の給付型奨学制度として、入学試験の成績により選考を行う制度、入学後の学業への取り組みにより選考を行う制度、地域人材・社会人の学び直しを支援する制度を整備している。貸与型奨学生としては、家計の急変に対応する制度を父母後援会・同窓会の支援を得て整備している。また、地域人材育成のための貸与型制度として看護学部の病院・自治体による制度、介護福祉士貸付制度などの紹介を行っている。</p> <p>専任教員がアドバイザーとして指導や助言をする態勢をとっており、学生一人ひとりの修学、進路、健康管理、精神衛生、課外活動などに関わる諸問題について相談に応じます。アドバイザー教員は必要に応じて他の教員や関係他部署と連携を取り、最善の支援ができるようにします。</p>
<p>b. 進路選択に係る支援に関する取組</p>
<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. キャリア形成・就職センター職員（国家資格キャリアコンサルティング有資格者含む）が、求人情報の提供、学科ごとに担当者が個人別指導、エントリーの仕方・履歴書の書き方・面接の指導を行います。 業種の選択、企業の見方・選び方など各種就職活動の相談にも対応しています。 2. 2年次後半から「就職ガイダンス」を開催し就職活動準備を支援。また留学生を対象とした「留学生ガイダンス」や大学院生を対象としたガイダンスも別途開催。さらに定期的に医療系学科では独自に「就職ガイダンス」を開催している。 3. 「学内合同企業説明会」をキャンパス別に定期的に開催（毎月数社を招き、業界研究や企業研究、個別面談を実施）。オンラインでの開催のため、他キャンパスの学生も参加可。 4. 毎年1月に「企業研究会」を千葉市内のホテルにて対面方式で開催（医療系学科を除く3年生対象で、毎年100社前後の企業が参加。2022年度は対面で開催）。また11月・12月・2月にはオンラインでの企業研究会を開催。 さらに、薬学部、福祉総合学科、理学療法学科の医療系学科では、医療機関や福祉施設等を学科ごとに学内に招き、独自に業界研究会や就職説明会を実施。 5. 全学生を対象に適性診断とWeb模試テストの受検会を実施。その結果は受検会終了後にフォロー講座を開催し自己分析を支援している。また、受検結果は学科ごとに就職委員にも提供している。 6. 就職活動を支援するための各種講座を開催 （就活身だしなみ講座、面接対策講座、労働法セミナー、SPI対策Web講座など） 7. 基礎から業界別までの資格対策講座の開講（TOEIC®、日商簿記3級検定、国内旅行業務取扱管理者、販売士3級、ビジネス著作権検定、公務員教養試験対策講座など）。この他にも、資格の学校との提携による割引講座も案内。
<p>c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組</p>
<p>(概要)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康サポート <ul style="list-style-type: none"> ・学校保健安全法に基づき、全学生（交換留学生を含む）に年1回の健康診断を実施。 ・新入生全員に心電図検査を実施。 ・薬学部学生で有機溶剤等を使用する学生に対し、使用前の特殊健康診断を実施。 ・健康診断で有所見者には、再検査を案内、結果を確認しフォローしている。 ・健康診断結果は、ポータルサイトに掲載し、いつでも各自で確認できるようにしている。

- ・傷病者（通学中・学内）に対し、応急処置、病院搬送や付き添いを行い、保護者や所属の教職員に情報共有をしている。対象者には保険申請手続きをサポートしている。
- ・体調不良時の近隣の医療機関情報の提供、受診先の相談対応を行っている。
- ・既往疾患（アレルギー疾患含む）や、障害のある学生の面談およびサポートをしている。

2. 感染症対策

- ・新入生のみならず、全学生対象に年1回の健康診断時に胸部レントゲン検査を実施。
- ・入学時に母子手帳のコピーを提出してもらい、過去のワクチン接種履歴を把握している。
- ・学外実習対象学生に対し、感染症抗体価検査を実施。所属学部と連携し、追加ワクチン接種を案内している。
- ・学校感染症罹患学生に対し、治癒後の状況を確認、助言を行っている。
- ・感染症流行時には、ポータルサイトを通じ、注意喚起を促している。

3. 心のケア

- ・入学時に「健康カード（UPI 調査）」を実施、精神面の健康チェックを実施し、学生相談室からポータルサイトを通じカウンセリングの案内を早期に実施している。
- ・各キャンパスの学生相談室にて、カウンセラーによる学生相談が受けられる体制、精神科医による面談機会を設けている。
- ・休学前後の学生に対して、リーフレットを作成し医務室・学生相談室で心身の健康面でのサポート・相談できる体制を設けている。
- ・対面・オンラインの両方のカウンセリングも可能としている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページにて公表

研究) <https://www.jiu.ac.jp/visitors/detail/id=11839>

教育) <https://www.jiu.ac.jp/news/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F112310102404
学校名 (〇〇大学 等)	城西国際大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人城西大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者 (家計急変による者を除く)		563人	505人	592人
内 訳	第Ⅰ区分	311人	303人	
	第Ⅱ区分	154人	137人	
	第Ⅲ区分	98人	65人	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者 (年間)				-
合計 (年間)				596人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	0人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	19人	人	人
計	19人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	-
年間計	-
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	61人	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	61人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。